



〒520-0041  
滋賀県大津市浜町1-38  
滋賀銀行従業員組合  
TEL 077-521-2775  
FAX 077-525-5232  
http://www.biwa.ne.jp/ffs/  
e-mail:ffs@biwa.ne.jp

# 日本は今、戦争か平和かの重大な岐路

## 許さない！戦争する国づくり6.14県民集会



6月14日、大津市内の膳所公園において「憲法を否定する集団的自衛権の閣議決定撤回・戦争立法中止」を求め「許さない！戦争する国づくり6・14県民集会」が開催されました。

集会には、県内からおよそ800人が集まり、従業員組合員と先輩組合員8名が参加しました。

### 憲法漫談に爆笑



民の権利及び義務」にふれ、「憲法改正」が国民に与える影響を面白く分かりやすく解説するものでした。

第2部は、報告とリレートークが行われました。



### 世論と運動で阻止は可能

集会の第1部は、三重県出身の社会風刺漫談家ナオユキさんが「地球のすみずみに憲法の花を」と題した痛烈な憲法漫談に会場は爆笑と共感の拍手に包まれました。

憲法九条を朗々と暗唱したあと「憲法九条を無くさうとする人がいるが無くされては困る」「だってせつかく覚えたんだから」で大爆笑。漫談は、「今の憲法は古臭い、新しい憲法を作ろう」の大合唱が起こっているが、はたして「憲法」は本当に古臭くて改正が必要か。憲法前文と第2章「戦争放棄」、第3章「国たのか」をテーマに講演されました。

国連憲章のうえではあくまで侵略された国を助ける軍事行動のことであるが、今まで行使されてきたもので、このようなケースは一つもない。冷戦期のアメリカ、イギリス、フランス、ソ連（ロシア）の4カ国だけであり、しかも、軍事大国のみである。これらの国が、他国を侵略、攻撃するための口実になってきた。

### 集団的自衛権 市民学習会

6月1日、滋賀弁護士会・日本弁護士連合会主催の市民学習会が開催され小原執行委員が参加しました。

日本平和学会会員・日本ジャーナリスト会議出版部会世話人の松下伸幸氏を講師に「集団的自衛権は歴史」

はじめに、呼びかけ人を代表して玉木昌美弁護士（共同センター代表）がいさづきされ、つづいて、日本共産党の宮本たけし衆議院議員が基調報告をされ、「国会論戦で戦争法案の違憲が明白になった。幅広い一点共通で廃案に追い込もう。国民の世論と運動が最大のアメリカのベトナムへの侵略で、ベトナム人100〜200万人、アメリカ兵5万人を死亡させた。このような実態を少しも議論せず、また、ポツダム宣言も知らない安倍首相が世界から強い批判を浴びている。それにもかかわらず、憲法を捻じ曲げ、アメリカと共に戦争しようとしていることは許されぬ。8割を超える反対の国民とも同じ、法案の廃案のために

### 吉原弁護士を偲ぶ

私が坂本氏（故人）と共に京都第一法律事務所を訪れ、応対されたのが吉原先生であった。昭和42年5月頃、約50年前の事だがその記憶は消え去ることはない。昭和40年10月の事件について担当弁護士を依頼した。

「滋賀労働委員会提訴も視野に第一組合員への不当な賃金、身分差別を撤回させる闘い」「所轄労働基準監督署が『業務上疾病と認定した5名の健闘災患者』に対し、銀行（加害者）が被害者を相手取り『債務不存在』の確認を求め大津地裁に訴えるという前代未聞の暴挙との闘い」。

以後6年半に亘る地労委と裁判闘争を粘り強く闘い、地域の労働組合、民主団体や各政党のご支援を得て銀行を追い詰めた結果、滋賀銀行は遂に組合と労使正常化を決断、

らを追い詰めており、阻止は可能」と訴えられました。つぎにリレートークが行われ、真宗大谷派の僧侶である對月慈照さん、あいは



野平和運動連絡会の泉勝男さん、母親の立場から新婦人の篠崎由紀さん、NTPニューヨーク行動に参加した岡村庸靖弁護士、沖繩・安倍政権を強く糾弾していくことが必要と述べられました。



偲ぶ会で思い出を語る古田さん

昭和48年11月組合側の全面勝利で収束した。特に賃金差別撤回闘争は地銀連加盟全単組の解決に突破口となり（中略）その闘いは全国に広がり影響を与えた。新任間もない吉原弁護士はこの闘いで先駆的な役割を果たされました。

本当に長い間、有難うございました。謹んでご冥福をお祈り致します。

去る6月7日、吉原稔弁護士を偲ぶ会が執り行われました。追悼集に古田さんが寄せられた文章を引用しました。



最後に集会アピールを採択して、パルコ前までデモ行進を行いました。

集会アピールは、「日本は今、戦争か平和かの重大な岐路に立たされています。・・・」

は今、戦争か平和かの重大な岐路に立たされています。・・・」

は今、戦争か平和かの重大な岐路に立たされています。・・・」



国民平和大行進が6月16日に滋賀に入りまし。今年も、21日の京都への引継まで「金融労連の旗」をリレーで通し行進をしました。恒例となっており、先輩組合員のみなさんが協力して下さいます。今年も、執行委員7名が全日程の責任者になり、幟、リレーノート、カメラなど行進グッズをつなげました。

6月16日(火) 天気(曇)

毎年関ヶ原の引継集會に参加して、初めて町長が参加され立派な挨拶をされました。岐阜県内通し行進の



方が10人おられびつくり。今年は頑張られました。戦争立法にひた走る安倍、平和を願う今年も歩いて感謝です。 清水 綾子

朝、雨が降ったので天候が心配だったが、晴れて行進日和となった。関ヶ原の引継集會は、いつもだがコーラスで始まりにぎやかだ。全部で200人余り。戦争になったら何もかも、権利も福祉も国民全体が大変。何としても戦争法案を阻止したい。 山崎 幸雄

6月17日(水) 天気(晴れ)

朝から暑い。彦根市役所では平和への運動として8月に戦争に関する展示会を開催し、資料やポスターの掲示をして戦争や核兵器の恐ろしさ伝えるために取り組んでいるとメッセージがあった。 恒久平和宣言都市である豊



八日市コースであるが、通院日と重なり久しぶりに安土・野洲コースを歩きます。平和・



郷町や愛荘町では戦争法案は違憲であり、民意と大きくかけ離れた強引な安倍政権に反対すると表明されました。体力的にも厳しい行進でしたが、子どもと家族が家の前に並んで声援をもらうシーンもあり、頑張ってきました。 小原信夫

6月18日(木) 天気(雨後曇り)

小雨の安土駅に着くと知り合いの顔が何人か見えた。天候も考え、まず写真を撮ってもらってカメラをタオルでくるみナイロン袋に入れ、スタートの準備完了。例年、彦根・



安全がとり分け問われる昨今であり、頑張つて平和の声を響かせよう 谷 一明

雨が止んでいるうちに歩き終えたいな。今回も蒸し暑いが頑張ります。平和であることに幸せに思います。戦争な

んでもうしないと思う。9条で守ろう平和。

近江八幡駅で署名活動。平和であることを祈願し、呼びかけていきたい。再び戦争をする国にしようなんてとんでもない。核兵器をなくし、永遠に戦争のない国であってほしい。 八軒 和也

6月19日(金) 天気(雨)

今日も残念ながら雨となり、行進が少し歩きづらい日となりました。しかし、参加者の元氣ある「ノー・モア・広島」



ノー・モア・長崎」等々の町に響き渡る明るい声が、沿道の人々に行き渡ったのか、それに応えるように手を振って

くださる方や、「頑張つて」の心強い応援に勇気づけられました。核の恐ろしさは、隣の北朝鮮の核実験の実施で、我が国、また近隣諸国を脅かしています。この実験開発は大変な金額が必要となり、この国の国民の貧困へつながっていると思います。「朝鮮民主主義人民共和国」の名のごとく、国民のことを深く愛し、幸福な国づくりのためには、生活の向上、国際社会への前



向きな参加が不可欠で、今行っている核実験開発をすぐ中止すべきと考えます。アジアの国々が平和で戦争などの不幸を起こさないためにも、私たちはこの草の根である「国民平和大行進」を歩き続けます。 車谷 薫

6月20日(土) 天気(曇り時々晴れ)

草津市役所から県庁まで行進しました。歩くことが少なく、運動はしているけれど使うところが違うので足がだるく、休憩が待ち遠しい状態でしたが、通し行進者のお二



人の元氣なこと。「えらいなんて言ってもらえないなあ」と元氣をもらいました。こつこつと出来ることをやっていかないとダメだと思いました。 浦谷 貞子

予想外の好天にも恵まれ心も軽く歩きたすものの、日頃の運動不足がたたり途中から苦戦。しかし、通し行進者お

二人から元氣をいただいたり何か行進を終えられたら。今年、戦後最悪の改憲が強行されようとしているなかで、「戦争法案」を何としても阻止したい。体力が続く限り、この運動を続けていきたいと思いました。 中島 康隆

6月21日(日) 天気(曇りのち晴れ)

朝がたすこい雨と雷で目が覚めてショック！でも県庁前に着いたころから雨は降りやみ行進日和となりました。83歳の山口さんと65歳の松永さんの通し行進者に励まされ力を一杯もらいました。今日で滋賀県最後。この運動は多くの人に伝え引き継ぐことの大事さを痛感しています。元気で、また来年も歩きたいと思えます。 植木 和美



青い空は青いままで、次の世代に引き継ぎたい。大雨を心配しましたが、晴れた青空の下で歩きました。平和な世界を皆さんと心一つにして頑張ります。 田中 紀美子

3人で仲良く行進しました。手を振って応えてくれる人、投げキッスで応援してくれる人もいて、戦争する国にするな！びわこを汚すな！と応援してくれる人が例年より多いように思いました。80歳を超えている人が東京→広島へ通し行進されており、まだまだ頑張らねばと励ましをもらった感じです。家を出た時は大雨だったので、長靴で行進したのは私だけで少し恥ずかしく思いました。無事京都へ引き継ぎ、金融労連の旗を次に引き継げればと思いい、帰りました。戦争するもの人間、戦争をストップさせるのも人間、ストップのため頑張ろう！！ 澤井 正